

[報告]

## ピョートル・ミツネル教授（ステファン・ヴィシンスキ枢機卿大学、ワルシャワ）講演会「戦間期ポーランドの亡命ロシア」開催報告<sup>1</sup>

小椋 彩

2019年2月、ポーランドよりピョートル・ミツネル教授を招聘し、講演会「戦間期ポーランドの亡命ロシア」を開催した。教授はこれまで戦間期ポーランド文学、ポーランドとロシアの文化接触、両亡命文化研究等に大きな功績がある<sup>2</sup>。

ロシアにおけるポリシェヴィキの政権掌握後、1921年のリガ平和条約によってポーランドとソ連間の国境が画定されるまでの間に、亡命者たちは多くがベルリンやパリといったヨーロッパの都市を目指したが、なかには中国や日本、アメリカに渡った者もいる。彼らは各地でロシア・ディアスポラを形成、そうしたディアスポラは、規模の違いはあるものの、受け入れ国の政治的・社会的要因を反映させながら独自の「文化活動」を行った。亡命者と受け入れ者の文化的な融合の痕跡を探る、こうした亡命ロシア文化研究には、世界的に見ても厚い蓄積がある。

ロシアから西を目指した者のうち、ポーランドに残ったのは少数にすぎない。それも当初は、より故郷に近いゆえに帰りやすいと思われたのかもしれないし、あるいは、そこからならば、ポリシェヴィキ体制の打倒も簡単だろうと考えられたのかもしれない。ともあれ、戦間期のポーランドにも複数のロシア・ディアスポラが形成され、新聞・書籍の出版やサークル活動などを行ったが、研究対象として大きな関心が払われてきたとはいえない。その理由の一つは、ポーランドのロシア・ディアスポラに顕著な性格、すなわち強烈な反ポリシェヴィズムという政治色の強さであろう。しかしながら、近年、これらの看過されてきた文化活動の仔細をアーカイヴ調査から掘り起こし出版化する動きはロシアとポーランドの双方で活発化しており、ミツネルはポーランド側プロジェクトの中心メンバーである。本誌に”Russian Emigres in Poland and Dmitry Filosofov”として寄稿されているのは、ワルシャワの亡命ロシアを概観したロシア語講演（Русская эмиграция в Польше）を加筆修正、英語化したものである<sup>3</sup>。

ワルシャワに滞在した最大の「ロシア文化人」であるメレシコフスキイとギツピウス夫妻とともに、一旦はこの地を去るも、再び戻ってポーランドの亡命ロシアの文化活動の維持と発展を担ったのは、世紀末ロシアの象徴派詩人で、バレエ・リュスの創始者ディアギレフとともに雑誌「芸術の世界」編集者としても名高いドミートリイ・フィロソフオフだった。彼がワルシャワで結成した亡命ロシア人の文化サークルは、プーシキンの詩にちなんで「コロムナの家」と名づけられ、ロシア人ばかりでなくポー

ランド人の参加も得て、1934年から1936年のおよそ2年間活動、重要な文学的及び哲学的議論の場として機能した。当初から厳格なルールが定められ、たとえば招待客の選出にもフィロソフの事前の許可が必要な、これはかなり閉鎖的なサークルであった。しかしマリア・ドンブロフスカやイエジ・ステンポフスキが回想し、またフィロソフ自身も述懐しているように、この閉鎖性がサークルの質を保ってもいたのである。講演及び本寄稿では、根深い反ロシア感情という当時のポーランド独自の事情ゆえロシア語出版が難しく、サークル結成に至る道や、ロシアとポーランド間の知られざる交流関係などが明かにされ興味深い。

昨今のディアスポラ研究の多様化を受け、このテーマにも一層の深化が期待されている。本講演会はその足掛かりとなるものであり、無事開催できたことを関係者、来場者の皆様に心よりお礼申し上げます。

## 注

- 1 ピョートル・ミツネル講演会「戦間期ポーランドの亡命ロシア」。2019年2月4日早稲田大学早稲田キャンパス（3号館705号教室）にて。早稲田大学ロシア研究所主催、日本スラヴ学研究会後援。本講演会を含む研究プロジェクトは以下の助成を受けている。科研費研究15H03193「東欧文学の多言語的トポスをめぐる研究」（代表・井上暁子）、科研費研究15K02407「戦間期ポーランドの亡命ロシアに関する研究」（代表・小椋彩）。
- 2 ピョートル・ミツネル（Piotr Mitzner, 1955-）は文学研究者、詩人、エッセイスト。1999年以来ステファン・ヴィシンスキ枢機卿大学で教鞭を執る。戦争文学、ポーランドとロシアの文化的接触、ポーランドの亡命ロシアなどをキーワードに研究。国民記憶院（IPN）による亡命ポーランド系文芸誌「クルトゥラ」（1947-2000）アーカイヴ資料出版プロジェクト委員ほか。
- 3 フィロソフを中心としたワルシャワの亡命ロシアに関するミツネルの著書には以下がある。P. Mitzner, *Warszawski „Domek w Kolonnie”*. Warsaw: Wiedza, 2014. P. Mitzner, *Warszawski krąg Dymitra Filozofowa*. Warsaw: Wiedza, 2015.